

## 成人式の啓発事業【栃木県足利市】

(実施主体) 栃木県足利市

(基金事業メニュー) 普及啓発事業

(実施期間) 平成 23 年度～24 年度

(実績額) 平成 23 年度 616 千円

### 〔事業の背景・必要性・目的〕

足利市における過去 5 年間の自殺者数は、38 人から 46 人で、死因順位の 6 位～8 位の間を推移している。平成 21 年には、練炭を使用した大学生による集団自殺も起きている。また、障害者自立支援法による自立支援医療費（精神通院）受給者証申請時の診断書の記載内容にある、「大学生活になじめず…」、「就職後の人間関係に悩み…」等の理由から、精神科等への受診につながっていることを把握した。

以上のことから、20 歳を迎える頃は、生活環境の変化など、様々な面で、大きな変化を迎える時期となる。その結果、今までの生活経験では、解決されにくい問題（課題）に直面することもあり、心身共に大きな影響を受けることになる。

元々、青年期は、外見上の成長と内面的な成長のアンバランスさがあり、心身の状況が極めて不安定であり、衝動性のコントロールの困難さや依存等、精神的なバランスの問題が、行動化につながりやすい。

その行動化を抑制（調整）し、漠然とした不安感の解決・解消につなげるため、成人式で啓発物品を配付し、「こころの健康」について意識できる機会とした。

### 〔事業の内容〕

成人式での配付物品の一つとして、簡単なエゴグラムも確認できるパンフレットを配付し、封筒が平らだと、そのまま興味を持たれない可能性もあるので、メッセージ入り（「いのち大切に…♥」）のボールペンを併せ入れ、封筒の中身に興味を持てるようにした。

また、パンフレットの他に、身近な相談窓口のメールアドレスや厚生労働省のサイトの案内等直接的に支援を必要としなくても、自分が必要な時に情報を得られる機会となるようリーフレットで情報提示した。

本人だけへの周知でなく、家族と同居している場合は、パンフレットを持ち帰ることでその家族への波及効果もねらい、配付した。

### 〔事業実施に当たっての運営体制等〕

パンフレットの配布については、成人式の実施担当である教育委員会青少年センターの協力を得て、配付が実施できた。

### 〔事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点〕

今回の事業では、変化が生じる青年期に着目して、「相談の機会」を周知するものとなった。具体的な反応は得られていないが、相談のあり方について検討する機会になったと思う。

また、今後もさまざまな年齢層に向けた啓発活動の方法について検討し、「医療の前の相談の機会」

も踏まえた段階を検討していきたい。

(問合せ先) 栃木県足利市役所福祉部社会福祉課障がい福祉担当  
TEL:0284-20-2134  
E-mail:fukushi@city.ashikaga.lg.jp  
URL : <http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/>